

## 評価規準

※【具体的な目標】の記載内容が「評価規準」のどの内容に近いかを検討して合致する項目を参考にして、具体的な到達目標を記載し、記号と数字を記載する。ない場合は(新)と記載する。

A 知識	①別府の歴史・人物・文化・自然に関する一定の知識がある。	
	②別府の街づくりや特色ある産業についての一定の知識がある。	
	③温泉の泉質や効能等の基礎知識がある。	
	④日本の接客業における職務ごとや総合的なおもてなしの心や業務が分かる。	
	⑤温泉コンシェルジュに求められるものを理解している。	
	⑥温泉の様々な利用に関する温泉産業、サービス等の一定の知識がある。	
	⑦別府市内の地理や交通手段の知識がある。	
	⑧別府温泉の観光・健康・医療・食等を総合した企画ができる。	
	⑨温泉による健康・医療について、温泉の様々な効能と泉質の関係の知識がある。	
	⑩温泉を活用した健康トレーニングや、温泉との関係に限らず広く癒しや健康増進に関する知識がある。	
B 問題 解決 力	①考え、生み出す力がある。(企画力・コンセプトワーク・柔軟な思考力)	
	②物事をわかりやすく説明して伝えることができる。(プレゼンテーション能力)	
	③情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。(論理的思考力)	
	④科学的な根拠(統計・分析等)に基づいて現象を分析・理解し表現することができる。	
	⑤問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。	
	⑥多様な情報を収集・分析して適切に判断して効果的に活用できる。	
	⑦中長期的な視野に立ち「ランドデザイン」や「戦略」を立案できる。	
	⑧地域の目指す方向に照らして、顧客へのプランを企画できる。	
	⑨地域への理解に基づいて地域社会の置かれている状況を読み解くことができる。	
C 適 正	対 人 関 係 能 力	①他人の話に耳をよく傾けることができる。
	②他者を理解し、多様な価値観を受容することができる。(コミュニケーション力)	
	③信頼関係を築き、親和的な態度で接することができる。	
	④職場や地域での人的ネットワークを構築し、活用することができる。(ネットワーク力)	
	⑤人々を説得し、動かすことができる。(リーダーシップ)	
	自 己 開 発 能 力	⑥自分で選び、決定し、行動することができる。
	⑦自分の行動によって生じる責任を自分で背負うことができる。	
	⑧多様な文化や価値観の中で状況を改善しようとすることができる。	
	⑨既存の枠組み(態度・慣習・慣例等)にとらわれず、新たな変革を起こそうとすることができる	
	専 門 性	⑩知識を生かし、職場や地域でのネットワークを活用した、より良いプログラムを提供をしようと努力する。
	⑪別府の街づくりや特色ある産業について他の地域と比較するなどして、特色を説明できる。	
	⑫温泉を活用した産業、世界の温泉情報を説明できる。	
	⑬日本や世界のおもてなしの心と作法(マナー)を基にした、窓口業務としての接客サービスができる。	
	⑭別府の魅力を提供する総合的な接客サービスができる。	
	⑮別府における温泉産業、サービス、情報発信等を説明できる。	
	⑯温泉を活用した・PRするイベントや温泉体験等の別府案内ができる。	
	⑰別府温泉の観光・健康・医療・食等の総合的な企画プログラムを提案できる。	
	⑱温泉による健康・医療について、温泉の様々な効能と泉質の関係を説明できる。	
	⑲温泉を活用した健康トレーニングや温泉との関係に限らず広く癒しや健康増進のトレーニングに関するプログラムを説明できる。	

## 温泉コンシェルジュ養成専門科目一覧

【1年生対象科目】 \* 別府に関する基礎的な学びをする

	科目名	履修内容	時間数	単位数
1科目目 金3時限	温泉コンシェルジュの基礎	温泉コンシェルジュに求められるものを理解し、別府の魅力を提供する総合的な接客サービスの内容を学びます。	講義 15.コマ	2単位
授業計画	1. 温泉コンシェルジュに求められるものを学ぶ。(1時限～11時限) ①コンシェルジュに必要なもの(1～6) ②(別府)温泉コンシェルジュに必要なもの(7～11) 2. 顧客へのプログラムの提案演習(12時限～15時限) ①温泉コンシェルジュの魅力PR(12～13) ②温泉コンシェルジュが発信する別府の魅力(14～15)			
到達目標	1. 知識・理解 ①(別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を理解し、説明できる。(A-⑤) ②別府の魅力・特色を知り、顧客の求めるプログラムを作成しようとする。(B-①・B-②) 2. 習得する資質・能力等 ①他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をしようとする心ができる。(C-①・C-③) ②顧客や職場等の考えを理解し、多様な価値観を受容しようすることができる。(C-②・C-④)			
2科目目 金4時限	別府の歴史と発展	別府の歴史から自然・人物・文化・産業に関する発展の知識を持ち、各種資料による別府の学びをします。	講義 15.コマ	2単位
授業計画	1. 別府の発展の歴史を学ぶ。(1時限～13時限) ①別府を豊かにした自然を学ぶ(1～3) ②別府に関わった人物を学ぶ(4～5) ③別府が生み出した文化を学ぶ(6～8) ④別府を発展させた産業を学ぶ(9～13) 2. これからの別府の発展のポイントを考える。(14時限～15時限)			
到達目標	1. 知識・理解 ①別府の発展の歴史の特色を、自然・人物・文化・産業の4つ視点から説明できる。(A-①) ②別府の発展のポイントを、歴史の視点と周辺地域との連携という視点から説明できる。(A-①) 2. 習得する資質・能力等 ①取得した情報を基にして、物事をわかりやすく説明して伝えることができる。(B-②) ②情報や知識を様々な観点から論理的に分析し、表現(説明)できる。(B-③)			
3科目目 夏集中	まちづくりと景観	別府のまちづくりや景観についての一定の知識を持ち、他の地域と比較した特色を学びます。	講義 15.コマ	2単位
授業計画	1. 「地域とは・都市とは」について学ぶ。(1時限～3時限) ①地域・都市の誕生と定義(1) ②地域・都市計画の機能と役割(2) ③別府の地域・都市計画の特徴(3) 2. 「まちづくりとは」について学ぶ。(4時限～6時限) ①まちづくりの定義と各地のまちづくり(4) ②別府のまちづくりの特徴(5) ③特定エリアを再生するまちづくりの要件(6) 3. 観光資源としての景観について学ぶ。(7時限～10時限) ①別府の地域資源や産業の特徴と景観の関係(7～8) ②別府の景観の特徴(9～10) 4. おすすめ風景カルテの作成と活用について学ぶ。(11時限～15時限) ①おすすめ風景カルテの作成方法の検討と作成(11～13) ②カルテを用いた情報提供の実践(14～15)			
到達目標	1. 知識・理解 ①コンシェルジュとして紹介する地域や都市の特性を如何にして理解したら良いかが分かる。(A-②) ②紹介しようとする地域や都市の全体像を理解し、別府の地域特性を説明できる。(A-②) 2. 習得する資質・能力等 ①顧客対応に利用する情報をストックし整理することができる。(B-③・B-⑥) ②情報を顧客のニーズに応えながら提供する能力を身に付ける。(C-①・C-②) ③別府の街づくりや特色ある産業について他の地域と比較するなどして、特色を説明できる。(B-④)			
4科目目 夏集中	温泉学	温泉の泉質や効能等の基礎知識を学ぶとともに、温泉を活用した産業、世界の温泉情報を学びます。	講義 15.コマ	2単位
カリキュラム 内容	1. 温泉学の概要を学ぶ。(1時限) 2. 温泉科学を学ぶ。(2時限～4時限) 3. 別府の温泉地としての魅力、温泉活用方法を学ぶ。(5時限～6時限) 4. 温泉と健康を学ぶ。(7時限～8時限) 5. 別府の地形と地質を学ぶ。(9～10時限) 6. 温泉学フィールドワーク(11時限～12時限) 7. 別府温泉とツーリズム(13時限～14時限) 8. (別府)温泉のまとめ。(15時限)			
到達目標	1. 知識・理解 ①温泉の自然科学、社会科学の知識における基本的事項を習得できる。(A-①・A-③) ②別府温泉に関する取り組みについて説明できる。(A-⑥) 2. 習得する資質・能力等 ①別府温泉コンシェルジュとして、温泉の専門的知識をベースに接応できる。(C-⑮、C-⑯) ②科学的な根拠(統計・分析等)に基づいて現象を分析・理解し表現することができる。(B-④)			



【2年生対象科目】＊専門的な学びと実習を行い、コンシェルジュとしての資質・能力を養成する

	科目名	履修内容	時間数	単位数
1科目目	温泉の基礎	温泉の様々な利用を知り、別府における温泉産業、サービス、情報発信等を学びます。	講義 15.コマ	2単位
カリキュラム内容		1. 別府の温泉（観光）情報発信の方法を学ぶ。（1時限～6時限） ①必要とされるWeb上での情報発信法（1～3） ②街づくり、人づくり、場づくりに取組の手法と情報発信（4～6） 2. 別府温泉による癒しや美容を学ぶ。（7時限～8時限） 3. 別府の温泉産業を学ぶ。（9時限～13時限） ①地域に密着した職人技を磨く現場から伝統工芸に取り組む職人・施設（9～11） ②温泉熱を利用した産業（12～13） 4. 別府温泉のサービスメニューを学ぶ。（14時限～15時限）		
到達目標		1. 学習内容 ①温泉の様々な利用に関する温泉産業、サービス等の一定の知識がある。 ②別府における温泉産業、サービス、情報発信等を説明できる。（同上） ③温泉を活用した産業、世界の温泉情報を説明できる。（同上） 2. 習得する資質・能力等 ① 別府温泉の観光・健康・医療・食等を総合した企画ができる。（同上） ②職場や地域での人的ネットワークを構築し、活用することができる。（同上）		
2科目目	温泉コンシェルジュ 実習Ⅰ	別府市内の地理や交通手段を学び、温泉を活用した・PRするイベントや温泉体験等の別府案内ができる力を育成します。	演習 30コマ	2単位
授業計画		1. 別府・大分県の観光を知る。（1時限～6時限） ①別府市内の観光素材（1～3） ②大分県内の観光素材（4～6） 2. まちあるき・温泉巡り体験（7時限～18時限） ①まちあるき体験（7～12）②温泉巡り体験（13～18） 3. 観光案内実習（19時限～30時限） ①対話の心得とシュミレーション（19～21）②観光現場での案内実習（2限～30）		
到達目標		1. 知識・理解 ①（別府）温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を理解し、説明できる。（A-⑤） ②別府の魅力・特色を知り、顧客の求めるプログラムを作成しようとする。（B-①・B-②） 2. 習得する資質・能力等 ①他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をしようとする心ができる。（C-①・C-③） ②顧客や職場等の考えを理解し、多様な価値観を受容しようすることができる。（C-②・C-④）		
3科目目	温泉コンシェルジュ実習Ⅱ	別府温泉の観光・健康・医療・食等のコンシェルジュとしての総合的な企画プログラムを提案できる力を育成します。	演習 30コマ	2単位
授業計画		1. 宿の想いを知り過ごし方を提案する。（1時限～15時限） ①宿の想いを知る（1～3） ②宿周辺のマップ作り（4～9） ③宿のニュースレター作り（10～15） 2. 宿の新しいプログラムを創る。（16時限～30時限） ①プログラム企画（16～24） ②プログラム体験実習と交流会（25～30）		
到達目標		1. 知識・理解 ①顧客に対して、別府の様々な地域資源を組み合わせた滞在プログラムの提案を行う。（A-⑧） ②関係する職場の特徴、周辺の資源、イベント情報等を調査・収集し、それらを組み合わせて、顧客の滞在価値を高めるマップやニュースレターを作成する。（B-①、B-②、B-③、B-⑥、B-⑧） 2. 習得する資質・能力等 ①自身の知識に加え、人的なネットワークを活用して課題解決を図るネットワーク力が身に付く。（C-④） ②顧客や職場等の考えを理解し、課題解決の為に提案を行う企画提案力が身に付く。（C-⑩・C-⑰）		
4科目目	温泉医療療養指導	温泉による健康・医療について、温泉の様々な効能と泉質の関係を学びます。	講義 15.コマ	2単位
授業計画		1. 温泉医療についての総論を学ぶ。（1時限～6時限） ①医療における温泉の意義（1～2） ②日本の温泉の国際的な位置づけ（3） ③温泉の医療効果の根拠（4～6） 2. 温泉が個々の代表的な疾患に対して及ぼす影響について学ぶ。（7時限～15時限） ＊循環器系疾患、呼吸器系疾患、免疫・アレルギー疾患、ストレス、代謝性疾患、肝臓・消化器疾患、婦人科・泌尿器科疾患、呼吸器系疾患、骨・関節疾患（予定）		
到達目標		1. 知識・理解 ①安全な温泉利用法を説明できる。（A-⑨） ②健康増進目的の温泉利用法を説明できる。（A-⑨） ③持病がある方の温泉利用上の注意内容を説明できる。（A-⑨） 2. 習得する資質・能力等 ①温泉による健康・医療について、温泉の様々な効能と泉質の関係を基にして、一般的な温泉利用の利点と危険性、体質や症状に応じた温泉利用についてのアドバイスができる。（C-⑱） ②顧客のニーズや情報を収集・分析し、適切に判断して効果的なプログラムを提案できる。（B-⑥）		

5科目目	健康トレーニング	温泉を活用した健康トレーニングや温泉との関係に限らず広く癒しや健康増進のトレーニングプログラムを学びます。	講義 15コマ	2単位
授業計画	1. 健康・体力づくりやリハビリテーションに関する基本的な知識を学ぶ。(1時限～4時限) 2. 温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法を学ぶ。(5時限～10時限) ①温泉プールを活用した健康・体力づくりの方法(5～7) ②温泉プールを活用したリハビリテーションの方法(8～10) 3. 別府のトレーニング・医療・リハビリ施設の訪問学習(11時限～13時限) 4. 温泉を活用した健康・体力トレーニングやリハビリに関する個別の課題を想定して課題解決に向けたプログラム作成(14時限～15時限)			
到達目標	1. 知識・理解 ①温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法が分かる。(A-⑩) ②別府のトレーニング・医療・リハビリ施設に関する知識がある。(A-⑩) ③温泉を活用した健康トレーニングやリハビリテーション、広く癒しや健康増進に関する基本的な知識がある。(A-⑩) 2. 習得する資質・能力等 ①信頼関係を築き、親和的な態度で接することができる。(C-③) ②温泉を活用した健康・体力トレーニングやリハビリに関する知識を基にして、課題解決に向けたプログラムを提案できる。			